

# 進路だより

H27 9月発行 2号

ようやく過ごしやすい季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今回の進路便りは、夏季休業期間に取り組んだ、職員の体験研修の様子をお伝えします。夏季休業中、本校では、様々な研修を行っており、夏季体験研修も、大切な取り組みの一つです。地域の福祉事業所を訪れ、利用者の方と共に活動したり、児童・生徒、卒業生が過ごしている様子を見て、日頃の教育活動に活かしていくことが目的です。

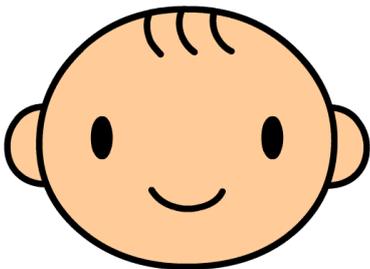
今年度は、13か所の施設に、14名の教員の参加がありました。その中から、3人の教員に話を聞きました。



**小学部 4年生担任**  
**なぎの木園就労B ホーフ**

当日の活動内容を教えてください。

事業内容の説明を受けた後、作業の様子を見学しました。その後、スーパー等で販売するお菓子作りの作業と一緒に体験させてもらいました。



研修でどのような事を思いましたか。

電気の導線切りや花飾り作りといった細かく根気のいる作業を役割分担しながら、職員の方が一緒になって明るい雰囲気の中で作業されていると感じました。

研修で、得たものはありますか。

みくまの支援学校を卒業した生徒の就労の様子を見学させてもらったり、実際に体験させてもらい、卒業生の働く場所の実情や地域とのつながりを知ることができ、よかったです。

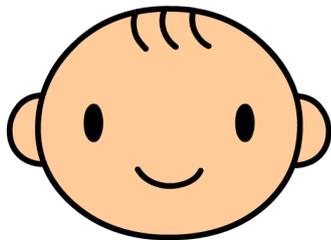
**高等部 1年生担任**  
**杉の郷**

当日の活動内容を教えてください。

施設内の清掃、検温、水分補給補助、盆踊りの練習、昼食介助、歯磨き介助、社会奉仕活動（洗面、手洗い場清掃）、音楽レクリエーション、入浴介助、利用者のコミュニケーションです。

研修で、得たものはありますか。

入所している利用者の言動で、職員の方が苦勞されている話を聞くことで、学校生活の中で、人との関わり方、ストレスの出し方など、うまく生活できる手段を身につける大切さを感じました。

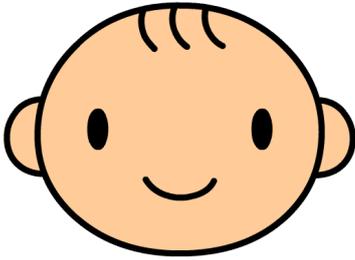


研修は、今後の教師生活に活かそうですか。

はい。卒業後の入所生活を見ることで、人との関わり方、コミュニケーション方法、ストレス解消法等、在学中に学習できればいいと感じました。

小学部 1年生担任

障害者支援センター 虹



当日の活動内容を教えてください。

プール・昼食・遊び等の日中支援でした。

研修をしようと思ったきっかけを教えてください。

みくまの支援学校の児童が、学童でどんな活動をしているのか、また色んな児童・生徒がいる中で、どんな関わりをしているのか知りたかったので、研修しようと思いました。

研修で、どのような事を思いましたか。

児童が多い中、職員さんの人数が少なく、職員さん一人一人の負担が大きいのではと感じました。



## 事業所見学会

8月4日（火）に福祉事業所見学会がありました。職員研修の一環として、本校校区の福祉事業所の取り組みについて研修し、今後の進路指導などの充実を目的とするものです。今年は、19名の参加者が、本年度、開所した二事業所を見学しました。

1つは、就労継続支援B型事業所のわかば園第二作業所です。木工班と縫製班の仕事場があり、15名の利用者さんが仕事をしていました。みくまの支援学校の卒業生も通所しており、活躍している姿を見ることができました。わかば園第二作業所では、新宮市の伝統文化（御燈祭）を支える製品をたくさん作成し、「伝統を大切にしていける場所として、続けていくためにがんばっている。」ということでした。

太地町にあるいなほ福祉会のグループホーム「平見ハイツ」は、2月に開所したばかりのとても綺麗な建物で、玄関に入ると木の香りがしました。現在10名の入居者の方が生活しています。グループホームに入居に際して職員さんは「グループホーム入居となると、知らない所でいきなり生活が始まることになる。利用者にとっては負担が大きいため、グループホームに入る予定があるのならば、早い段階から、親元を離れる練習として、ショートステイなどを積極的に利用して欲しい。」と話してくださいました。

事業所が大切にしていることや、学校在学中に取り組んでおきたいことなど知ることができ、今後の進路指導等への取り組みの参考となりました。



「わかば園第二作業所」



「平見ハイツ」

次号は、「高等部現場実習について」です。